

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-114641

(43)Date of publication of application : 06.05.1998

(51)Int.Cl. A61K 7/48
A61K 7/00
A61K 7/02
A61K 7/06
A61K 7/50

(21)Application number : 08-271210

(71)Applicant : TORAY IND INC

(22)Date of filing : 14.10.1996

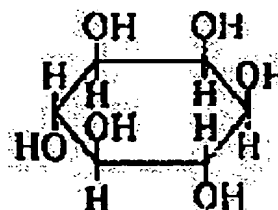
(72)Inventor : MINAMI MASAHIRO
NATSUME JUNICHI

(54) COSMETIC

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the subject cosmetic which contains inositol, a can show increased moisturizing properties, skin-moistening effect and nutrients-supplying effect at almost the same level, when rice bran is used, with a considerably reduced amount of inositol compared with rice bran.

SOLUTION: This cosmetic contains inositol in an amount of 0.001-10wt.%. The inositol is a cyclic hexahydric alcohol and myoinositol having the mutually couurring stereoisomerisem is preferably used among the nine isomers. An inositol prepared by extraction of rice bran or the like, by chemical synthesis or through fermentation can be used and mixed with the raw material to give the objective cosmetics.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-114641

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月6日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	F I	
A 6 1 K	7/48	A 6 1 K	7/48
	7/00		7/00 C
	7/02		7/02 A
	7/06		7/06
	7/50		7/50
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)			

(21) 出願番号	特願平8-271210	(71) 出願人	000003159 東レ株式会社 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
(22) 出願日	平成8年(1996)10月14日	(72) 発明者	南 昌宏 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 東レ株式会社東京事業場内
		(72) 発明者	夏目 潤一 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 東レ株式会社東京事業場内

(54) 【発明の名称】 化粧品

(57) 【要約】

【課題】 皮膚を健やかに保つ効果のある化粧料を提供する。

【解決手段】 イノシトールを配合する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 イノシトールを含有することを特徴とする化粧料。

【請求項2】 イノシトールを0.001重量%～10重量%含量することを特徴とする請求項1記載の化粧料。

【請求項3】 化粧料が皮膚・毛髪洗浄剤、または基礎化粧料であることを特徴とする請求項1または2記載の化粧料。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は新規な化粧料に関する。さらに詳しくは皮膚を健康に保つ効果を有する化粧料に関する。

【0002】

【従来の技術】イノシトールは人間の体内でも合成されるが、必要量を合成できないことからビタミンの1種として扱われており、体内に摂取することで肝硬変や脂肪肝の予防、動脈硬化予防、成長促進作用などの効果があるといわれており、飲料に含有させることが知られている（特開平7-330643号公報）。また、従来から米糠は油脂、ビタミンBおよびミネラルなどが含まれることが知られており、皮膚に油分、水分、栄養分を与え、うるおいや保湿性の向上、弾力性の低下防止効果があるものとして皮膚化粧料に添加されている。

【0003】さらに、上記の効果を高めるため、米糠から抽出した多糖類を有効成分とすることを特徴とする化粧料（特開昭64-66106報公報）や米糠から得られた水溶性抗酸化物質を含有していることを特徴とする化粧料（特開平2-53705号公報）などが知られている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし米糠には独特の臭いがあり、米糠をそのまま配合した化粧料は、製品に米糠独特の臭いを残すことになるという欠点がある。香料などの添加により臭いをかくすことが試みられているが、香料の刺激により皮膚に悪影響を与えるという問題点がある。さらに米糠をそのまま配合した化粧料は、化粧料中に不溶の成分が残留し、使用時に肌へのざらつきが感じられるという欠点もある。

【0005】また、米糠に含有されるイノシトールリン酸エステルのカルシウム・マグネシウム塩が有効成分の一つと考えられるが、このままの状態では皮膚に吸収されにくいと、有効成分が皮膚に吸収されないという問題点もある。

【0006】米糠から抽出した多糖類や水溶性抗酸化物質を化粧料に配合した場合も、臭いや皮膚への吸収性はまだ十分ではない。

【0007】

【問題を解決するための手段】本発明は上記の課題を解

決することを目的として、イノシトールそのものを含有した化粧料を提供するものである。

【0008】従来から米糠の保湿効果、肌にうるおいや栄養を与える効果は知られていたが、臭い、添加される数量が多い、少量では効果が低いなど効果が十分でない。本発明はイノシトールが特に保湿性、肌のうるおい効果、栄養補給効果などが高く、臭いもほとんどなく、米糠を添加するよりもかなり少量で同様もしくはそれ以上の効果が得られることを見出した。

【0009】

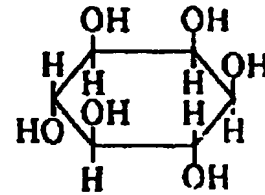
【発明の実施の形態】本発明でいう化粧料とは、いわゆる化粧品に限定するものでなく、直接皮膚に触れる化粧料、入浴剤、石けんなどを含む。

【0010】本発明の化粧料の剤形は任意であり、石けん、ボディシャンプー、ハンドソープなどの皮膚洗浄剤、化粧水、乳液、ローション、クリーム、パック剤、クレンジングクリーム、発泡剤などの皮膚化粧料品、ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドーなどのメイクアップ化粧料、シャンプー、リンス、ヘアトニック、トリートメント、ヘアクリーム、スプレー、発泡剤、養毛・脱毛剤などの毛髪化粧料、粉末、錠剤、顆粒、液体などの入浴剤などが挙げられ、特に限定されるものではない。

【0011】本発明で用いるイノシトールとは、 $C_6H_6(OH)_6$ で表される環状六価アルコールであり、9つの立体異性体が存在するが、本発明では特にミオイノシトールといわれる天然型のものをを用いるのが好ましい。ミオイノシトールは下記の構造で表される。

【0012】

【化1】



イノシトールとしては米糠から抽出して得られたもの、化学合成で得られたもの、発酵法により得られたものなどが用いられる。

【0013】イノシトールの配合方法としては、イノシトールを原料に混合して化粧料を製造する方法、イノシトールを水などにかして化粧料に添加する方法、公知の方法で製造した化粧料にイノシトールを添加する方法などが挙げられ、特に限定されるものではない。また、高純度のイノシトールは白色の粉末状であるが、イノシトールの製造工程などで得られる、イノシトールを含有する水溶液などをそのまま化粧料に配合してもよい。

【0014】化粧料に対する配合量としては、化粧料に対して、0.001重量%～10重量%が好ましいが、さらに好ましくは0.01重量%～1重量%である。

【0015】0.001重量%未満では、保湿性などが十分でなく、10重量%を越えると、石けんなどで泡立ちが悪くなるなど、化粧料そのものの持つ機能を損なうことがあり好ましくない。

【0016】

【実施例】以下に、本発明を実施例に基づいて具体的に説明するが、本発明はこれらの実施例に限定されるものではない。

【0017】また、本実施例で用いたイノシトールは、

関東化学の特級を用い、米糠は、新潟県産のコシヒカリの米糠を乳鉢ですりつぶして用いた。各表の組成は重量%である。

【0018】（実施例1、クレンジングクリーム）表1に示す組成のクレンジングクリームを常法により製造した。これを20～30代の女性10人が試用し、試用後の感想を表2に示した。

【0019】

【表1】

サンプルNo	1-1	1-2	1-3
イノシトール	0.2%	-	-
米 糠	-	0.2	-
セレシン	15.0	15.0	15.0
ワセリン	25.0	25.0	25.0
流動パラフィン	59.3	59.3	59.5
香 料	0.5	0.5	0.5
紫外線吸収剤・防腐剤	適 量	適 量	適 量

【表2】

サンプルNo	1-1	1-2	1-3
使用後のしっとり感	7	5	9
使用時のざらつき	1	9	0
異臭を感じる	1	9	9

数字は各項目に該当すると感じた人数で複数回答可

（実施例2、化粧水）表3に示す組成の化粧水を常法により製造した。これを20～30代の女性10人が試用し、試用後の感想を表4に示した。

【0020】

【表3】

サンプルNo	2-1	2-3
イノシトール	1.00%	-
米 糠	-	-
グリセリン	24.50	25.0
エチルアルコール	24.50	25.0
水酸化カリウム	0.05	0.05
精 製 水	49.92	49.92
香 料	0.02	0.02
紫外線吸収剤・防腐剤	適 量	適 量

【表4】

サンプルNo	2-1	2-3
使用後のしっとり感	9	3
使用時のざらつき	1	2
異臭を感じる	0	2

数字は各項目に該当すると感じた人数で複数回答可

（実施例3、乳液）表5に示す組成の乳液を常法により製造した。これを20～30代の女性10人が試用し、試用後の感想を表6に示した。

【0021】

【表5】

5

6

サンプル名	3-1	3-2	3-3
イノシトール	0.5%	-	-
米 糖	-	0.5	-
流動パラフィン	10.0	10.0	10.0
トリエタノールミシテレート	4.8	4.8	5.0
精 製 水	84.2	84.2	84.5
香 料	0.5	0.5	0.5
紫外線吸収剤・防腐剤	適 量	適 量	適 量

【表6】

サンプル名	样品 3-1	样品 3-2	样品 3-3
使用後のしっとり感	7	3	2
使用時のざらつき	0	8	0
臭気を感じる	1	5	1

数字は各項目に該当すると感じた人数で複数回答可

(実施例4、入浴剤)表7に示す組成の入浴剤を常法により製造した。これを20～30代の男女10人が試用し、試用後の感想を表8に示した。

【0022】

【表7】

サンプル名	4-1	4-2	4-3
イノシトール	3.0%	-	-
米 糖	-	3.0	-
重炭酸ナトリウム	39.0	39.0	40.0
酒 石 酸	29.0	29.0	30.0
ヘキサリン酸ナトリウム	10.0	10.0	10.0
硫酸ナトリウム	19.0	19.0	20.0

【表8】

サンプル名	4-1	样品 4-2	样品 4-3
使用後のしっとり感	6	4	4
使用時のざらつき	0	7	0
臭気を感じる	1	6	1

数字は各項目に該当すると感じた人数で複数回答可

(実施例5、ヘアトニック)表9に示す組成のヘアトニックを常法により製造した。これを20～30代の男性10人が試用し、試用後の感想を表10に示した。

【表10】

【0023】

【表9】

サンプル名	5-1	5-3
イノシトール	0.5%	-
米 糖	-	-
アルコール	58.5	58.5
精 製 水	34.72	35.0
グリセリン	5.0	5.0
サリチル酸	0.3	0.5
カチオン活性剤	1.0	1.0
色素・香料	適 量	適 量

(5)

特開平10-114641

7

8

サンプルNo.	5	1	75%	5	3
使用後のしっとり感		6		1	
使用時のざらつき		1		0	
臭気を感じる		2		3	

数字は各項目に該当すると感じた人数で複数回答可

【0024】

【発明の効果】 以上のようにイノシトールを少量配合す

ることにより、皮膚にうるおいや栄養を与え、健やかに保つ効果のある化粧品を提供できる。

10

20

30

40

50